



Point

刈り取り適期を見極めて 高品質米を目指しましょう！



秋田地区営農センター 上野 未来

刈り取り適期の判断基準

品種	目安	積算気温	黄化程度
あきたこまち (早生品種)	出穂45日後	950~1,050℃	籾の90%が黄化した頃
めんこいな・ぎんさん (中晩生品種)	出穂50日後	1,050~1,150℃	

※積算気温はあくまでも目安として、最終的には籾の黄化程度を目で確認して判断しましょう。

積算気温到達目安

アメダス 地点	積算気温	出穂日			平年値
		7月29日(盛期)	8月2日	8月6日	8月2日(盛期)
秋田	950℃	9月5日	9月9日	9月14日	9月11日
	1,050℃	9月9日	9月14日	9月19日	9月16日
	1,150℃	9月14日	9月18日	9月24日	9月21日

※8月25日まで実数値、それ以降は平年値で試算

積算気温だけでみると、平年より刈り取り適期が1週間ほど早まる見込みです。

刈り取りが遅れると胴割れ・発芽などの被害粒が発生し落等の原因になるので、適期を逃さないようにしましょう。また、詳細については稲作情報9月号で再度ご確認をお願いします。

出荷時の注意点

- ・水分は15.0%以下を目標として、胴割れなどが生じないように調整を行いましょ。
- ・計量器の点検・調整は必ず行ってください。量目不足の場合は検査ができないので注意してください。皆掛けで紙袋は30.5kg、フレコンは1,032kgとなります。
- ・混タミ防止のために、機械の清掃を必ず行ってから調整作業をしましょう。最初の米は飯米などで対応してください。
- ・1.9mmの選別網を使用することで、カメムシ斑点米や未熟粒の混入を抑えやすくなります。整粒歩合の向上や高品質米の生産を目指していきましょう。

〈栽培履歴の提出について〉

JA米の条件のひとつとして、栽培履歴の提出が必須となります。未提出の方は、出荷前までに最寄りの支店またはグリーンセンターへ提出をお願いいたします。